

平成 19 年度 事業 報告

財団法人千葉市国際交流協会

第 1 事業の概要

平成 19 年度は、増加する中国籍の日本語学習希望者に対応するため、ステップアップ中国語講座を開設し、ボランティアの育成を図るとともに国際交流・国際協力団体に対して助成対象範囲を拡大するなど地域で活動している方々への支援強化を図った。合わせて事務効率の向上を図るため、ボランティア情報システムを構築するとともに協会のホームページをリニューアルなどして事務の改善を行った。

また、アメリカ・ヒューストン市との姉妹都市提携 35 周年を記念し、文化芸術団を招聘し、伝統芸能を千葉市民に紹介した。さらに次代を担う青少年にお互いの国の文化・歴史等を理解してもらうため、カナダ・ノースバンクーバー市、アメリカ・ヒューストン市及びスイス・モントルー市との青少年交流事業を引き続き実施するなど、限られた財源を有効に活用し、事業展開を図った。

第 2 実施事業の内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、相互の交流の促進を図った。

内 容	開 催 日	テ ー マ	参 加 者
市民と外国人市民のフリートーク形式による交流会(3回)	8月19日 10月29日 3月29日	PAP(親子三代夏祭り「ちば踊り」) 民族音楽を楽しむ～韓国とチリ～ ブラジル文化 サンバとは	計 185人 (うち外国人 76人)

イ 国際交流推進スピーチ大会

日本語を学ぶ外国人市民が、日本における生活体験等についてスピーチを行ない、学習成果の発表を行った。

内 容	開 催 日	会 場	発 表 者	参加者
外国人による日本語スピーチ大会	10月27日	国際交流プラザ会議室	11か国13人	152人

ウ 語学講座

(ア) 英語サロン

英語を楽しみたい、親しんでみたいという賛助会員及びボランティア並びに英語に触れてみたい児童を対象に歌やゲームを取り入れた英語サロンを実施した。

内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
英語サロン	2時間×11日	2回	リサ・マリン氏	64人
こども英語サロン	45分×1日	2回	ナミ・カスヤ氏 リサ・マリン氏	23人

(イ) 中国語・韓国語

国際理解の向上とボランティア活動の一助とするためにボランティア及び賛助会員を対象に語学講座を実施した。

内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
はじめての中国語講座	2時間×20日	1回	劉 萍 氏	15人
ステップアップ中国語講座	2時間×10日	1回	律 津 氏	15人
はじめての韓国語講座	2時間×20日	1回	姜 龍熙 氏	11人

エ 青少年交流

姉妹都市の市民相互の交流を促進し、次世代を担う青少年にお互いの国の文化・歴史・習慣等について理解を深めるため、引き続き青少年交流事業を実施した。

内 容	期 間	参 加 者
千葉・ノースバンクーバー市 (38回目)	(受入) 7月30日～8月22日 (派遣) 8月1日～8月24日	高校生4人・引率者1人 高校生4人・引率者1人
千葉・ヒューストン市(25回目)	(派遣) 8月17日～8月31日	中学生6人・引率者1人
千葉・モントルー市(10回目)	(受入) 8月13日～8月22日	青少年3人・引率者1人

オ 千葉市国際文化フェスティバル

「国際交流都市・千葉市」を内外にアピールするとともに、市民の国際理解を深めるため、官民一体となった実行委員会を組織し、姉妹友好都市から文化・芸術団体を招いて伝統芸能を市民に紹介した。合わせて国際理解講座として、小学校において国際理解を深めてもらうための啓蒙事業を実施した。

内 容	開 催 日	会 場	参 加 者
姉妹都市提携35周年を記念し、アメリカ・ヒューストン市から「ヒューストン音楽交流団」を招き、伝統芸能を市民に紹介	10月20日	市民会館大ホール	724人
アメリカ・ヒューストン市の紹介やミニ公演	10月22日	小中台小学校	707人

(2) 市民活動支援事業

ア 国際交流ボランティア登録・斡旋

地域に根差した国際交流及び多文化共生の推進を図るため、通訳、日本語学習支援等のボランティア登録及び斡旋を行った。

内 容	登 録 者	斡 旋
通訳	378人	37人
災害時通訳	140人	-
翻訳	221人	-
ホームステイ	127家庭	28家庭
ホームビジット	165家庭	33家庭
日本語学習支援	895人	576人
学校派遣	77人	4人
国際交流支援	380人	32人
文化紹介	163人	14人
合計	2,546人、家庭	724人、家庭

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。

講 座	内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
入 門	これから日本語学習支援を始めるボランティアのための基礎的な予備知識の習得	2時間×1日	6回	松本明子氏	44人
養 成	具体的な日本語学習支援の方法を学ぶボランティアのための講座	3時間×16日	2回	松本明子氏	72人
実 践	日本語学習支援経験者の資質向上を図るための講座	2.5時間×10日	1回	松本明子氏 伊藤三枝子氏	15人

(イ) 災害時通訳ボランティア研修

災害時における外国人市民とのコミュニケーション能力を有するボランティアを育成するため研修を実施した。

内 容	開 催 日	会 場	参加者
災害時における通訳対応の基礎事項の理解と通訳練習	3月3日	国際交流プラザ会議室	60人

(ウ) 日本語ボランティア交流会

日本語学習支援ボランティア相互の情報交換や交流の場を提供するとともに
(財)海外技術者研修協会に講師を依頼し、日本語学習に関するアドバイスを実施した。

内 容	開 催 日	会 場	参加者
日本語学習支援に関する相談及び情報交換	7月20日 3月10日	国際交流プラザ会議室	59人

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成

内 容	助成団体数
民間ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成	14団体

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と市民の交流の場を創出するとともに、団体相互の連携を図るため、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の支援を行った。

内 容	開 催 日	場 所	参加団体	参 加 者
ステージ発表、パネル展示による活動紹介、バザー等	2月17日	センシティタワー	国際交流団体 40団体	1,800人 (うち外国人400人)

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室27か所を協会のホームページに掲載し紹介する等、ネットワーク化を図った。

内 容	各区活動把握団体数
日本語教室を実施している団体	中央区6団体 花見川区3団体 稲毛区4団体 緑区3団体 美浜区11団体(若葉区は無し)

(3) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談及び情報提供を行った。また、電話の三者通話機能を利用しての電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

内 容	言 語	方 法	件 数
外国人市民に対する相談	英語、中国語、韓国語、 スペイン語、ポルトガル語	相談窓口、電話、 メール等	1,995件

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法的課題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

内 容	回 数	会 場	相 談 者
日常生活に関する法律相談	6回 (奇数月)	国際交流プラザ会議室	24人(10カ国)

ウ 留学生へのリサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を目的に、千葉市自転車商協同組合及び市の協力を得て、留学生が在籍する市内の大学へリサイクル自転車の斡旋を行った。

内 容	寄 贈 日	斡 旋 先
リサイクル自転車の寄贈	3月19日	千葉大学 25台 神田外語大学 5台

エ 留学生学習奨励

市内大学に通う私費留学生の学習支援の一環として、図書購入費用の一部を支援した。

内 容	対 象	交 付 先
図書購入費の一部支援 (図書券5千円の交付)	私費留学生	市内5大学 371人

(4) 情報収集・提供事業

ア ホームページ運営

協会の事業内容や外国人市民の生活に必要な情報について、インターネットを通じて幅広く発信した。また、ホームページを更新し、情報提供の拡大を図った。

内 容	時 期	対 象
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語)	随時更新	市民、外国人市民等

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配 布 先
協会情報誌「ふれあい」の発行(日本語) 52~55号(6ページ)	6月、9月、12月、3月 (年4回)	各3,000部	市民、賛助会員、 市内公共施設等

ウ 英語版情報誌発行

外国人市民等を対象に、イベント情報や国際交流・理解に関する情報を提供するため英語版情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配 布 先
英語版情報誌「The New Gateway」の発行 33～36号（8ページ）	6月、9月、12月、3月 （年4回）	各3,000部	大学、市内公共施設、ホテル等

エ 多言語情報誌発行

長期滞留している外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だよりを始めとして有益な情報を外国語に翻訳し、各区外国人登録窓口やホームページに掲載するなど生活情報を提供した。

内 容	発 行	言 語
多言語情報誌の発行及びホームページへの掲載	月1回	英語・中国語

オ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を整備するとともに情報コーナーにおいて協会PRを実施した。また、インターネットコーナーにおいて引き続きパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の整備（定期購読紙 19種）	通年	国際交流プラザ情報ラウンジ
情報収集用パソコン（2台）		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運営業務

内 容
国際交流の場の提供や、外国人市民に対する相談、情報の提供などを業務としている「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を受託